

副代表幹事
財政・税制改革委員会 委員長

岡本 圀衛

日本生命保険
取締役会長



Contents

■ 特集	
第17回企業白書シンポジウム 「持続可能な経営の実現」	02
■ Doyukai Report	
第39回 日本・ASEAN 経営者会議報告と 志賀 俊之 アジア委員会委員長インタビュー	11
「日本・ASEANの成長戦略と 日本企業のアジア展開の重層化」	
被災地出張授業 「働くこととは —社会で求められる人材—」 杉江 和男 学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長 (DIC 取締役会長)	13
被災地出張授業 「働くとは何か —働くためにはどのように学習をするのか—」 前原 金一 副代表幹事・専務理事	15
国家戦略特区の概要と今後の見通し 「国家戦略特区」の創設 藤原 豊 氏 内閣官房 地域活性化統合事務局 総括参事官	17
経済三団体長が安倍首相を訪問 TPP協定交渉の早期妥結を要請	21
自由民主党「日本を元気にする国民運動」の 一環として、賃上げへの協力を要請	21
■ Seminar	
第1224回 会員セミナー 「大学教育の総合的改革」 —グローバル化時代の学部教育— 濱田 純一 氏 東京大学 総長	18
■ Column	
巻頭言 岡本 圀衛 「先人から学ぶ三つのこと」	01
リレートーク 大井川 和彦 「ホストファミリー」	19
コペンハーゲン通信 「デンマーク電力会社の外資受け入れ」	20
私の思い出写真館 関山 護 「神のダム (フィリピン・サンロケ多目的ダム)」	22
新入会員紹介	21

「先人から学ぶ三つのこと」

日本経済は、アベノミクスの奏功により、株安、円高が大幅に改善したほか、企業収益も順調に回復し始め、長年苦しんできたデフレ脱却が現実のものとなりつつある。この好機を逃すことなく、持続的な成長軌道に乗せられるよう国を挙げて取り組んでいかなくてはならない。

一方で、日本は対GDP比200%超の政府債務残高を抱えている。これにより財政の硬直化や国民の将来不安などが生じ、経済成長の足を引っ張っている。そのため、経済成長と合わせて財政再建も達成しなければならないが、債務残高が歴史的、国際的に最悪の水準にある中、困難を極めることは想像に難くない。

ただ、幸いにも、われわれは自分たちの先人から多くのことを学ぶことができる。とりわけ、次の三つの教訓をしっかりと受け止め、経済成長と財政再建の両方を実現していく必要がある。

1. 「放漫財政のツケは必ず自分自身に跳ね返る」

約70年前、日本は膨張する軍事費に歯止めがかからず、終戦前年には日本の政府債務残高は対GDP比200%を超えた。敗戦後、そのツケの相当部分は、預金封鎖・新門切替・財産税などにより、多くの日本国民が背負うこととなった。

現在が戦中の混乱期と同じ水準であることには驚きだが、財政赤字のツケは、誰かが払ってくれるのではなく、自分自身に跳ね返ってくるということを学ぶ必要がある。

2. 「財政再建は国家百年の計である」

戦後最長のいざなぎ景気の中、歳出削減を主とした財政再建にかじを切った小泉政権下であっても、プライマリー・バランスこそ改善したものの、債務残高を減らすまでには至らなかった。

財政再建は決して短期間ではできないし、不況時では難しい。好況時にこそ取り組まなければならない。経済成長と財政再建はバランスを取りながら、中長期的な視点に立ち、両方とも着実に進めていくべきだ。

3. 「われわれ経営者の志で日本は絶対に再生できる」

戦後、日本は焦土の中から「東洋の奇跡」といわれる復活を果たした。その原動力は、経済同友会設立趣意書にもある「経済人として新生日本の構築に全力を捧げたい」とする先人経営者の高い志であった、と思う。

政府はこの一年で経営環境を改善させてくれた。次は、企業が積極的に投資を行い経済成長のエンジンに火を付ける番だ。企業経営者は、「今こそ自分たちの出番。必ず日本経済を再生させる」という強い使命感を持って、日々の経営に邁進すべきだ。

今月の表紙：世界の文様シリーズ

【ロシア・古布(年代不明)】

ロシアのフォークダンス衣装によく見られる花模様です。イスラム美術の影響が感じられるデザインです。